

事業番号	06 03 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	大気汚染防止対策等事業費	部局	環境部	課・室	水大気環境課	
		実施期間	S43 ～	E-mail	mizutaiki@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係						
重点目標						
総合的に展開する重点政策	4-5 地球環境への貢献					

1 現状と課題

- ・大気汚染防止法の一部改正について体制の整備、事業者への周知徹底が必要。令和4年4月から特定粉じん排出等作業の事前調査の報告が義務づけられたため、円滑に実施していく。
- ・光化学オキシダント（Ox）環境基準値が超過しているため、光化学オキシダント、その他の大気汚染物質の常時監視を継続。
- ・北陸新幹線鉄道騒音環境基準未達成の地点について、事業者及び関係省庁への要望を継続していく。

2 事業目的

大気の汚染状況の常時監視及び工場・事業場などへの立入検査により、良好な大気環境の保全を図るとともに、騒音・振動・悪臭対策を講じて、県民の健康に及ぼす影響を未然に防ぐ。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①排出源監視指導体制の強化

- ・改正法施行（令和4年4月1日）に伴い、特定粉じん排出等作業監視指導体制の強化（職員の一般建築物石綿含有建材調査者講習会受講等）

②大気常時監視の運営

- ・大気汚染の状況を常時監視するための機器の整備

③北陸新幹線鉄道騒音の改善

- ・騒音の測定、新幹線鉄道騒音に係る環境基準の達成状況の確認



アスベストアナライザーによる測定



大気環境測定車による大気測定

4 成果指標

（推移の凡例 ア：改善 ヱ：悪化 →：変化なし ー：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	大気環境基準達成状況（Ox除く）	%	100	100	→	100	→	100	達成	大気環境の保全状況を評価するため環境基準※の達成状況を成果指標として設定 ※大気の汚染などの環境上の条件について、人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持することが望ましい基準を、行政上の目標値として定めたもの	
②	有害大気汚染物質・ダイオキシン類環境基準等達成率	%	100	100	→	100	→	100	達成	大気環境の保全状況を評価するため環境基準※の達成状況を成果指標として設定 ※大気の汚染などの環境上の条件について、人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持することが望ましい基準を、行政上の目標値として定めたもの	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R4年度	0	76,464	△ 1,900	74,564	59,040	70,933	28.0
R3年度	0	69,976	△ 2,533	67,443	54,389	63,454	28.0
R2年度	0	84,042	△ 476	83,566	71,177	80,509	28.0

事業名	大気汚染防止対策等事業費	部局	環境部	課・室	水大気環境課
-----	--------------	----	-----	-----	--------

6 主な取組実績と成果

①排出源監視指導體制の強化

改正法施行（令和4年4月1日）に伴い、職員の一般建築物石綿含有建材調査者講習会の受講（1回、4人）等により、特定粉じん排出等作業監視指導體制を強化。

②大気常時監視の運営

風光・風速自動測定記録計、オキシダント自動測定記録計、微小粒子状物質自動測定記録計を整備し大気汚染の状況の常時監視を実施。

③北陸新幹線鉄道騒音の改善

騒音の測定、新幹線鉄道騒音に係る環境基準の達成状況の確認のための測定を14地点（長野市を含む）で実施。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	大気環境基準達成状況（Ox除く）	R3年度推移	→	R4年度推移	→	達成状況	達成
大気の常時監視や工場・事業場への立入検査及び監視指導を実施し、すべての測定局で、Oxを除くすべての物質について大気環境基準を達成した。							
指標②	有害大気汚染物質・ダイオキシン類環境基準等達成率	R3年度推移	→	R4年度推移	→	達成状況	達成
大気の常時監視や工場・事業場への立入検査を実施し、有害大気汚染物質、ダイオキシン類について大気環境基準を達成した。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・大気の常時監視や工場・事業場への立入検査及び監視指導を実施し、Oxを除きすべての物質で大気環境基準を達成。
- ・新幹線鉄道騒音に係る環境基準については、北陸新幹線鉄道騒音において、資金面や上下分離方式による運営等の理由で事業者が効率的な騒音対策・施設改良方法を見出せず、効果のある対策を実施できていないため、達成していない地点がある。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・大気の常時監視や工場・事業場への立入検査及び監視指導の継続。Oxについても同様に継続して監視等を行う。
- ・新幹線騒音測定を引き続き実施し、事業者への騒音対策及び関係省庁への事業者に対する働きかけ並びに施設改良を実現させる制度整備を要望していく。

事業番号	06 03 01	細事業一覧（令和4年度実施事業分）		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	大気汚染防止対策等事業費		部局	環境部	課・室	水大気環境課
細事業No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	
1	環境保全活動等推進事業費		54 千円	12 千円	0 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	公害紛争処理調停委員会の運営	直接	公害紛争を迅速かつ適正に解決するため、公害紛争処理調停委員会を運営 開催なし（申請等がなかったため）			
細事業No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	
2	大気汚染防止対策等事業費		70,506 千円	54,445 千円	62,390 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	排出源監視指導事業（大気）	直接	工場・事業場から排出されるばい煙や揮発性有機化合物等の基準適合状況検査 状況調査の実施により排出源の監視を推進			
2	大気常時監視事業	直接	大気常時監視機器及びオンラインシステムによる大気汚染状況の常時監視 一般環境大気測定局12局、自動車排出ガス測定局2局、移動局3局により 大気汚染状況を常時的確に把握			
3	大気常時監視事業	委託	安定的な大気環境観測体制を維持するため、大気常時監視機器、微小粒子状物質測定機器の保守 点検を委託して実施 保守点検（2回）により大気常時監視に必要な体制を維持			
4	有害大気汚染物質事業	直接	有害大気汚染物質の大気環境中の濃度実態及び経年変化傾向の把握のための大気測定 3箇所での測定により有害大気汚染物質の状況を把握			
5	酸性雨対策事業	直接	降水の実態把握や大気汚染物質の長距離輸送の機構を解明するための降水中成分等の観測 4箇所での測定により降水の実態把握や成分観測等を実施			
6	酸性雨対策事業	直接 委託	雨水の酸性度を把握するための測定 また、国設酸性雨測定所の安定的な観測体制維持のため、保守点検を委託して実施 毎月1回の測定を実施 年1回の保守点検の実施により国設酸性雨測定所の安定的な監視体制を維持			
細事業No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	
3	騒音・振動・悪臭対策事業費		2,916 千円	2,125 千円	1,735 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	北陸新幹線騒音・振動対策事業	直接	新幹線鉄道騒音の測定 8市町、14箇所（長野市を含む）で測定を実施し騒音状況を把握			
2	自動車騒音常時監視事業	直接	自動車騒音の測定 2町村、11箇所での測定を実施し自動車騒音状況を常時監視し把握			
3	自動車騒音常時監視事業	委託	騒音測定結果に基づく面的評価を委託して実施 1町、11区間での測定結果の面的評価を委託し常時監視を推進			
4	悪臭対策事業	直接	市町村担当者向け講習会を開催 悪臭対策担当職員に対し2回講習会を開催			
細事業No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	
4	化学物質対策事業費		7,033 千円	6,872 千円	6,808 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	ダイオキシン類対策事業	委託	ダイオキシン類常時監視等を委託して実施 25箇所での監視等を実施し、ダイオキシン類の状況を把握			
2	化学物質環境実態調査業務	直接	PRTR制度の周知と届出の促進 化学物質の分析方法の検討、環境実態調査の実施 PRTR届出件数：約1,085件 分析法開発1件、初期環境調査2件、詳細環境調査2件、モニタリング調査3件を実施し化学物質 環境実態を把握			